

研究課題番号	5-1751
研究課題名	微小（PM2.5）及び粗大粒子状物質が脳卒中発症や死亡に及ぼす短期曝露影響に関する研究
研究実施期間	平成29年度～令和元年度
累計予算額	107,073 千円
研究機関名	国立研究開発法人国立環境研究所
研究代表者名	高見 昭憲

1. 評価者の指摘及び提言概要

現在得られる脳卒中発症や死亡に関するデータおよび大気の PM2.5 関連の測定データの収集は十分行われ、それに基づく解析から貴重な知見が得られたと考えられる。一方で、多くの課題が明らかとなっている。 $10\mu\text{g}/\text{m}^3$ 当たりのリスクの増加は解析されているが、現在の我が国の環境基準以下の濃度でも影響が認められるのかを明らかにする解析があれば、さらに有用なデータとなる。また、今後は成分分析のなかで、重金属の成分も含めたデータ分析を行えるようなビッグデータの蓄積に期待する。

2. 評点

総合評点：A